

統幕長「政治的意図ない」

自衛隊明記賛意 国会で議論に

自衛隊制服組トップの河野克俊統幕僚長は二十五日の定例会見で、安倍晋三首相が提案した憲法への自衛隊明記を「一自衛官としてありがたい」とした自らの発言について「質問があり、個人的な感想を述べた。全く政治的意図はない」と釈明した。



高橋 監

記者会見する河野克俊統幕僚長 25日午後、防衛省で

河野氏の発言を巡っては同日の国会でも議論が相次ぎ、衆院憲法審査会では複数の野党議員が憲法が定める公務員の憲法尊重擁護の義務に反すると指摘。共産党の大平喜信氏は河野氏の罷免を求めた。一方、陸上自衛隊出身で自民党の中谷元・前防衛相は「自衛官も国民。個人として言論の自由があり、憲法について意見を述べることも許されるべきだ」と反論した。

参院外交防衛委員会では自衛隊法が禁じる隊員の政治的行為との整合性が問わ

れた。民進党の藤田幸久氏は、首相が自民党総裁の立場で提案した憲法への自衛隊明記に賛同することが「政治活動にならないのか」と質問。稲田朋美防衛相は「個人の感想を言っただけで政治的意図はない」と問題視しない考えを示した。